

「第3回 ケニア総選挙に向けた
ナイロビ邦人安全対策連絡協議会」

日 時 平成29年7月24日（月）
15:00～16:00

会 場 在ケニア日本国大使館・大会議室

【次第】

1. 開会のあいさつ
2. 選挙情勢について
3. 選挙治安情勢・安全対策について
4. 質疑応答

～ケニア日本人会・在ケニア日本国大使館 共催～

－政治情勢－

1. 選挙関係日程

- (1) 7月17日(月): 第1回副大統領候補者による公開討論(於: Catholic University of East Africa, Karen) ⇒与党及びNASA以外の候補が1名出席したのみ。
- (2) 7月24日(月): 大統領候補者による公開討論(於: 同上)
第1部17:30～(世論調査で5%未満の支持率の候補者)
第2部20:00～(世論調査で5%以上の支持率の候補者)
※オディンガ前首相が出席するかどうか不明。ケニヤッタ大統領は参加しない予定。
- (3) 8月6日(日): 選挙活動期間終了 ※8月5日(土)が終了日ではない
- (4) 8月8日(火): 投票日
- (5) 8月15日(火)までに: 投票結果発表
- (6) 9月12日(火): 大統領就任式(最速8月29日であるが、ずれこむ可能性大)

2. 与野党の選挙活動日程

(1) 与党

- 7月26日(水): ニェリ郡、ムランガ郡
- 7月27日(木): プンゴマ郡、カカメガ郡
- 7月28日(金): エルゲヨ・マラクウェット郡、バリンゴ郡
- 7月29日(土): エンブ郡、キリニャガ郡、キアンブ郡
- 7月30日(日): ナクル郡、ニャンダルア郡、ライキピア郡
- 8月6日(日): ナイロビ郡(ニャヨ・スタジアム)

(2) NASA

- 7月26日(水): エルゲヨ・マラクウェット郡、ウアシン・ギシュ郡
- 8月6日(日): ナイロビ郡(ウフル・パーク)
- ※7月29日(土)から8月6日(日)までウフル・パークを予約済み

3. 最新の支持率(括弧内のパーセンテージは前回調査結果)

(1) 大統領候補者

- ア Ipsos Synovate 社調査(7月3日～12日)
ケニヤッタ大統領: 47%(47%)、オディンガ前首相: 43%(42%)
- イ Infotrak 社調査(7月16日～22日):
ケニヤッタ大統領: 46%(48%)、オディンガ前首相: 47%(43%)

(2) ナイロビ郡知事選挙(TIFA 社調査、7月13日～17日)

- キデロ郡知事: 44%(44%)、ソンコ上院議員: 44%(43%)

4. 最近の動向：

(1) 大統領選挙用投票用紙の印刷問題

ア 背景

NASAが、投票用紙を印刷予定のドバイのアル・グレア社とケニヤッタ家とつながりがあるとして高等裁判所に訴えを起こしたことに対し、同裁判所は同主張を退けた一方、「公共の意見を十分に取り入れていない」として、大統領選挙用の投票用紙に関して7月7日に無効判決を下し、IEBCが同判決を不服として控訴裁判所に控訴。

イ 結果

7月20日、控訴裁判所は高等裁判所の判決を覆す判決を下し、同社が元々の予定どおり大統領選挙用投票用紙を印刷することとなった。

(2) 電子システム

ア 背景

NASAは、投票日に電子システム（投票者の生体認証及び投票結果の電子送信）が機能しない場合、投票日を延期すべきと高等裁判所に訴えを起こした。

イ 結果

7月21日、高等裁判所は電子システムが機能しなかった場合、マニュアル対応で投票を続けて差し支えないと判決を下した。

(3) IEBCによる臨時雇用

IEBCは、選挙用に約45万名の臨時職員及び約18万名の警察官を雇用すること及び2万5千台の車両を借り上げることを発表

(4) インターネット規制

政府は、噂されているインターネット規制は行わないものの、ヘイト・スピーチ等を掲載するSNS等は閉鎖する旨公表。

5. ナイロビ郡における投票所情報

別紙参照。

ナイロビ投票所①



ナイロビ投票所②ーカレン



選挙治安情勢・安全対策

1. 最近の選挙関連事件

- (1) ケニア全土：資料1のとおり
- (2) ナイロビ：資料2のとおり

2. 当館からの情報提供

- (1) 領事メール
- (2) 緊急SMS
- (3) スポット情報（ホームページ）

3. 現在の在留邦人の行動基準

(1) 現在の行動基準

レベル1：十分注意

対 応：各家庭・職場で、新聞、インターネット、テレビ、ラジオ等から情報収集を行い、情勢の把握に努める。

(2) お願い

- 「安全の手引き」を参考に、少しずつ備蓄を始めて下さい。
- 有事に備えて、緊急事態時の持ち出し携行品（旅券、現金、クレジットカード、イエローカード等その他身分証明書）を確認して下さい。

4. 今後の予定

(1) 「第3回ナイロビ邦人安全対策連絡会（全ての在留邦人対象）」の開催

8月5日（土）午前9時30分～午前11時、当館広報文化センター

(2) 「第4回ナイロビ邦人安全対策連絡協議会（8代表者出席）」の開催

情勢をみて開催を判断。

8月14日（月）午後3時～午後4時、当館大会議室

以 上

最近の主な選挙関連事件(7月以降)

資料1-1

- ①7月1日(土)西部ミゴリ郡
野党NASAの集会時、支持者による投石で車両10台が破壊。警官隊と支持者の衝突に発展した。
- ②7月1日(土)ナイロビ・マゼスラム
マゼスラム居住の与野党支持者同士が衝突し、投石等による武力衝突に発展した。
- ③7月1日(土)南部カジアド郡
カジアド郡の野党ODM事務所が放火された。
- ④7月6日(木)ナイロビ・マゼスラム
ナイロビ・マゼスラムにおいて、支持者同士の衝突中に、犯罪集団の衝突も発生し、3名が死亡。
- ⑤7月7日(金)沿岸部モンバサ
モンバサ郡知事立候補者の事務所近くにIED爆弾が設置されたほか、7月6日、選挙街宣車が投石等で攻撃された。
- ⑥7月12日(水)中部バリンゴ郡
野党NASAの集会が、与党支持者による妨害で、大統領候補ライラ・オディンガが演説を中断する事態に発展した。
- ⑦7月13日(木)中部キアンブ郡
野党NASA大統領候補ライラ・オディンガが演説中に、与党支持の若者から投石による攻撃を受けた。
- ⑧7月15日(土)ナイロビ・ダンドーラ地区
ダンドーラ地区居住の与野党支持者が、お互いに「8月8日投票日前に、襲われたくないのなら、ダンドーラ地区から出て行け。」との内容のチラシを配布するなど、緊張が高まっている。
- ⑨7月15日(土)西部ホマベイ郡
郡議会議員選挙候補者が誘拐される事件が発生した。
- ⑩7月16日(日)ナイロビ・マゼスラム
マゼスラム居住の与野党支持者が、お互いに8月8日の投票日前に、マゼスラムから立ち退くよう主張し、緊張が高まっている。
- ⑪7月20日(木)西部ブンゴマ郡
ブンゴマ郡政治家の支持者1名が銃殺された。
- ⑫7月21日(金)西部ホマベイ郡
選挙に関連したヘイトスピーチを行ったとして、政府関係者が逮捕された。
- ⑬7月21日(金)西部ウアシンギシュ郡
エルドレット地区で、対立する選挙支持者が衝突し、7人が負傷した。
- ⑭7月22日(土)北東部マンデラ郡
与党ジュビリーの集会で、与野党支持者が衝突し、多数の負傷者が出る事態へと発展した。
- ⑮7月22日(土)中部ライキピア郡
ライキピア郡北部選出の国会議員が、暴力活動を扇動したとして逮捕された。

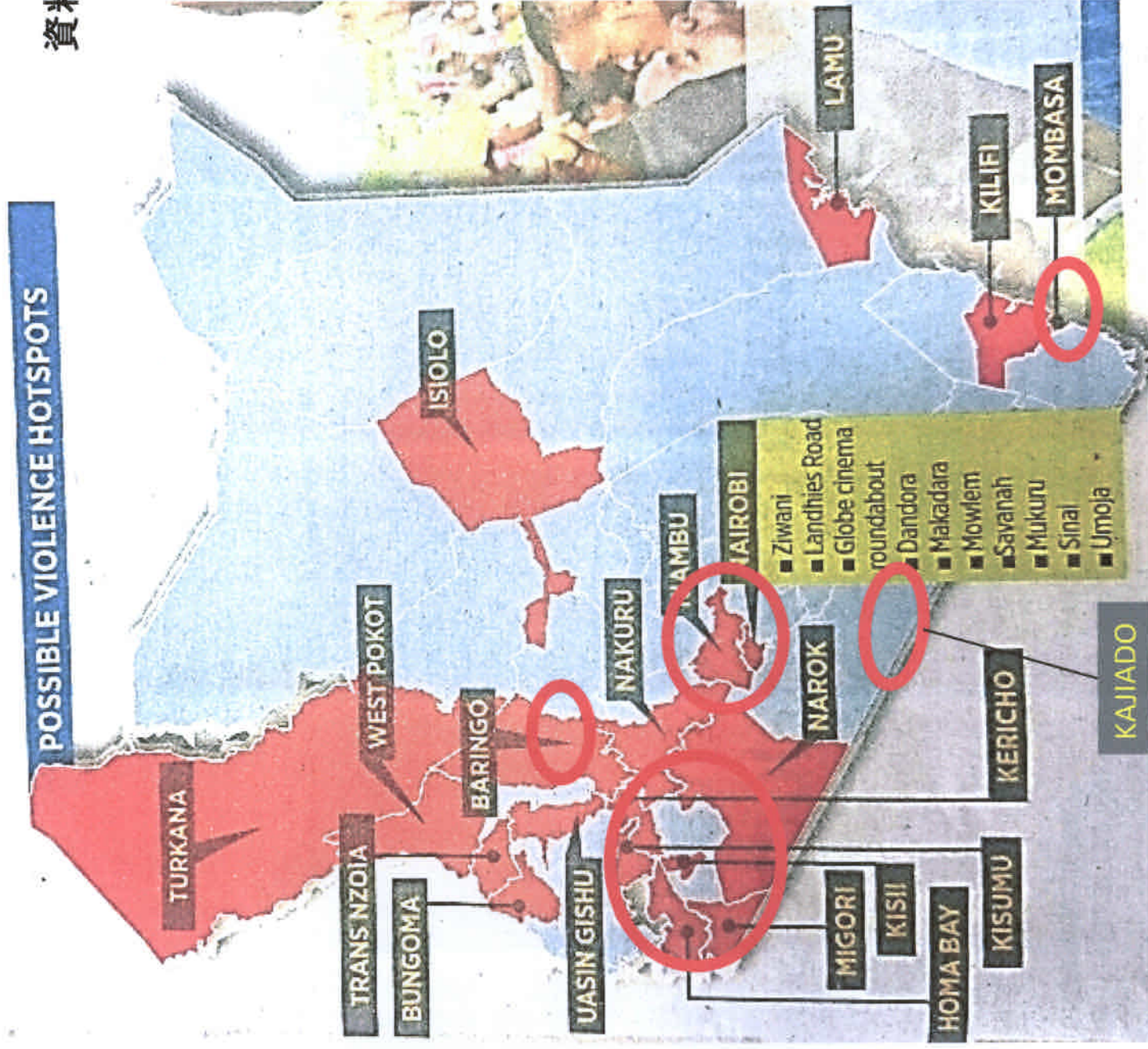
ホットスポット

～ケニア全域～
7月5日付

Daily Nation

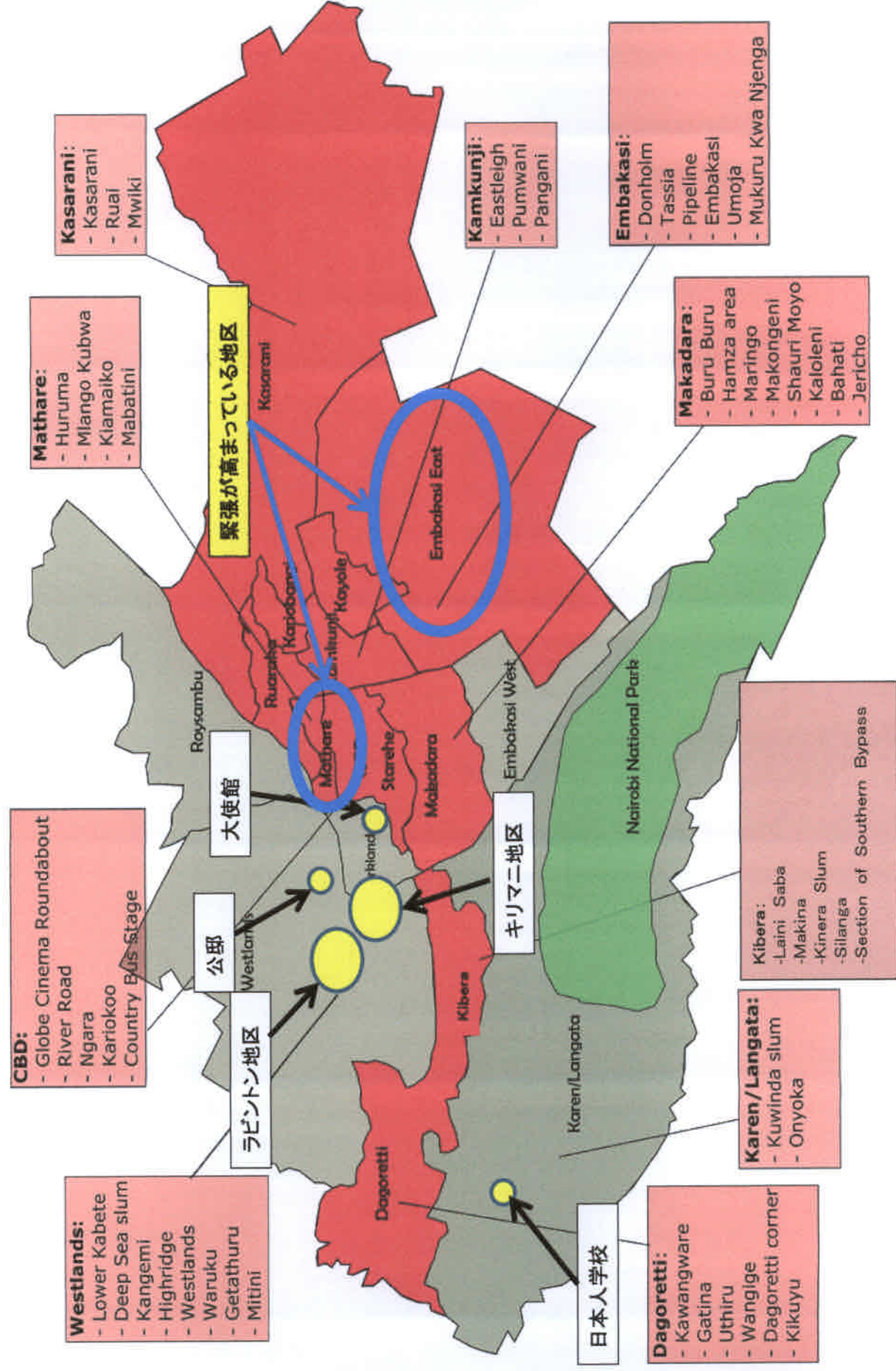
7月中の選挙関係
事件発生場所
(7月1日～24日)

資料1-2



ホットスポット予想(ナイロビ)

資料2



7月24日現在・オープンソース